

日立市に住む男女の生活と意識の調査

1 調査の目的

日立市男女共同参画社会基本条例第10条に基づき、日立市に住む男女の家庭や 仕事、地域等に関する意識と実態を把握し、次期計画策定の基礎資料とするために実施。

2 調査の概要

(1) 対象者	住民基本台帳から無作為抽出した20歳以上の男女各2,000人
(2) 期間	令和2年8月20日(郵送)～9月10日(回収〆切)
(3) 回収結果	ア 有効回答数 2,066人 (男性 904人、女性 1,118人、回答しない 3人、不明 41人)
	イ 有効回答率 51.7%

3 主な調査内容

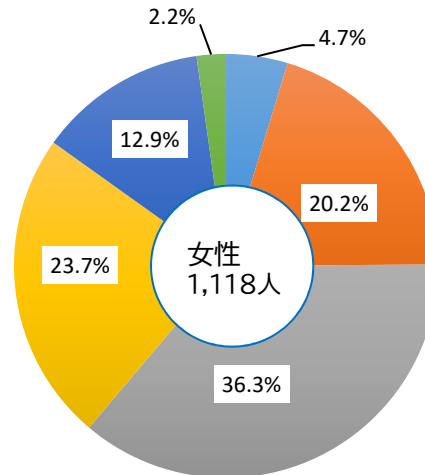
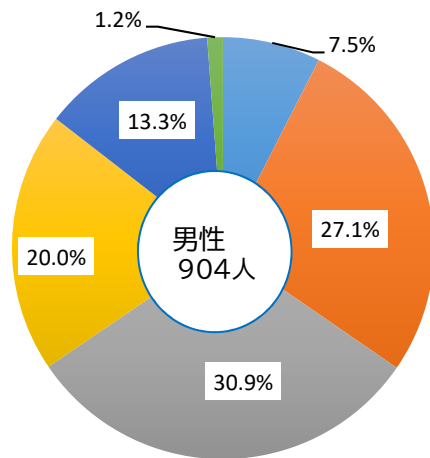
(1)	男女の地位や役割	固定的な性別役割分担意識や女性の職業の持ち方について
(2)	家庭生活・地域活動	結婚に対する考え方や家事分担、地域活動への参加について
(3)	仕事と生活の両立	働く男女の実態や職場環境、仕事と家庭生活の両立について
(4)	配偶者、恋人からの暴力	配偶者や恋人などのパートナーからの暴力の実態と対処法
(5)	日立市について(市の役割)	現在の取組の評価、今後取り組むべき施策の重要度など

(1) 男女の地位や役割について

着目点 ・ 固定的性別役割分担意識の改善率

「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方【男女別】

本編:P26



- 賛成
- どちらかといえば賛成
- どちらかといえば反対
- 反対
- わからない
- 無回答

【ポイント】

「反対」「どちらかといえば反対」と考える人の割合は、男性よりも女性が約1割高い。

経年で比較すると、男女とも固定的性別役割分担意識はかなり改善されていると言えるが、それでもなお全国値よりも低い状態にある。

	性別	H23		H27		R2
反対・ どちらかといえば反対	男性	24.0%	⇒	41.4%	⇒	50.9%
	女性	37.5%	⇒	48.7%	⇒	60.0%

【全国:男女共同参画社会に関する世論調査】男性 55.7% 、 女性 63.4% (R1 内閣府)

(1) 男女の地位や役割について

着目点 ・ 固定的性別役割分担意識の改善率

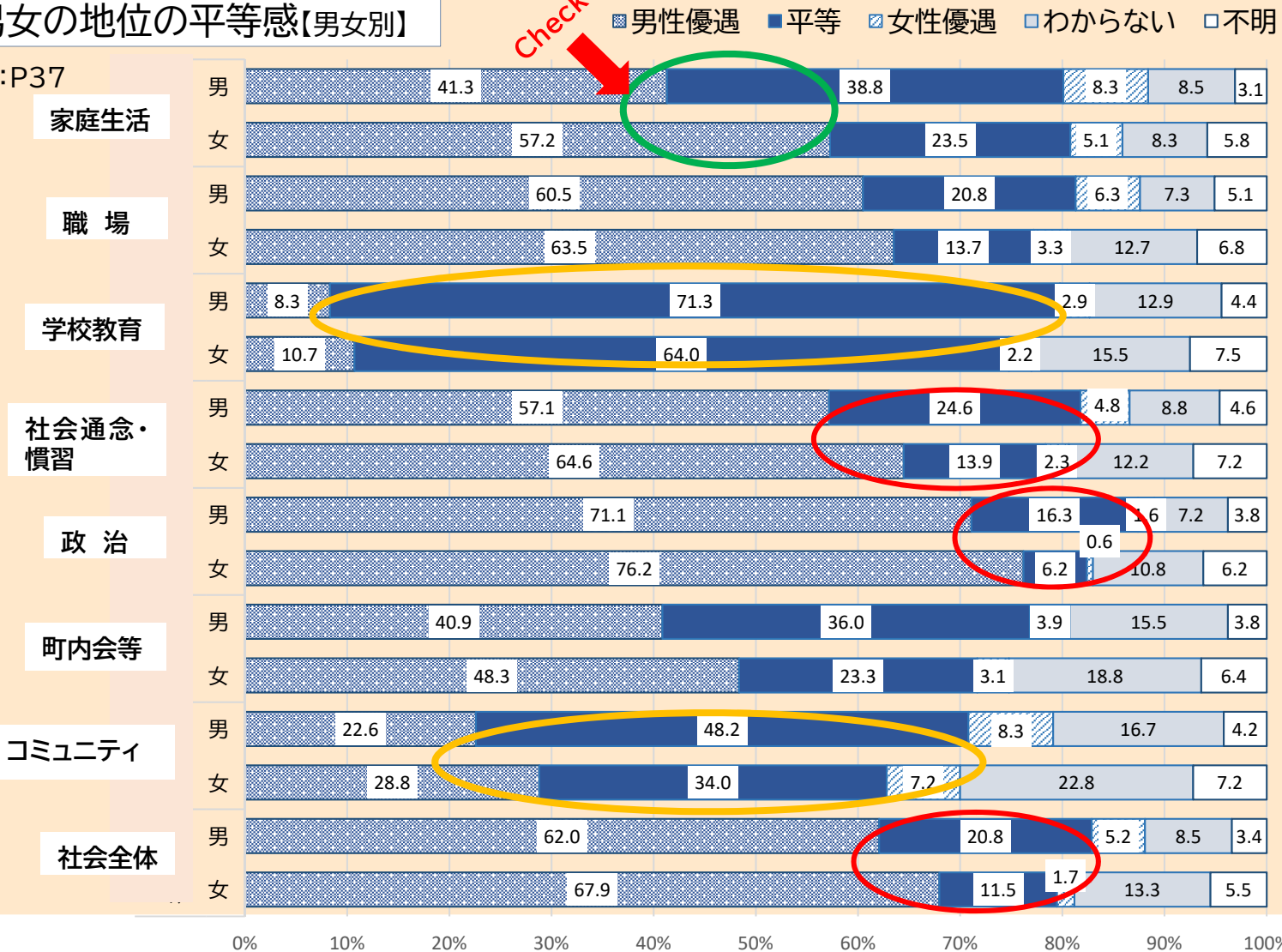
【ポイント】

「学校教育」「コミュニティ」における平等感は男女とも高い一方、「社会通念・慣習」「政治」「社会全体」に対する男性優遇の意識は男女とも高く、特に女性の不平等感が高い傾向。

なお、「家庭生活」における平等感男女差が大きく、男性と女性で意識の相違が生じていることが見て取れる。

男女の地位の平等感【男女別】

本編:P37



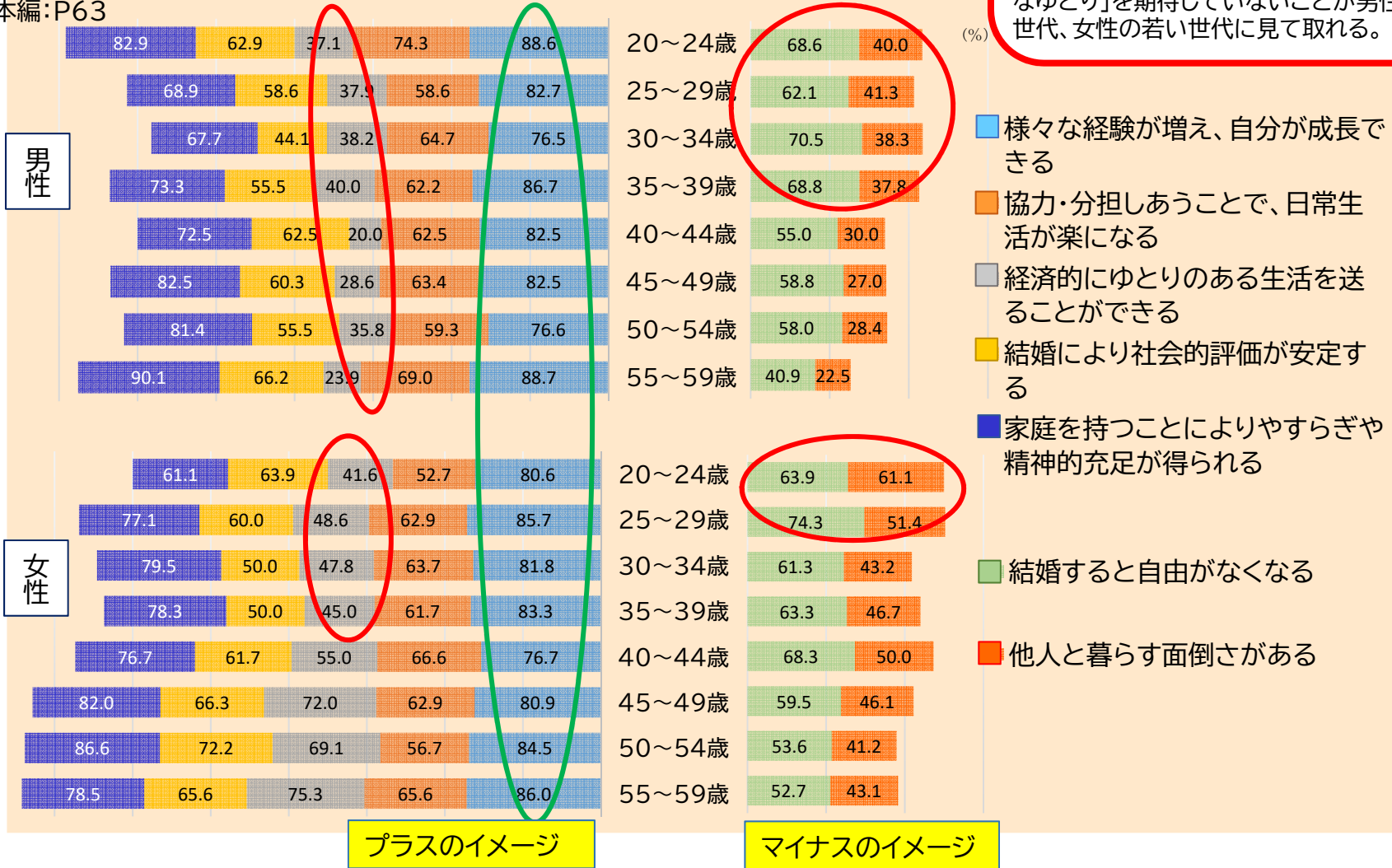
Check!

(イ) 家庭生活・地域活動について

着目点 ・ 家庭生活や地域活動における充足感

結婚観(「そう思う」「どちらかというと思う」の合計)【男女別・60歳未満】

本編:P63



【ポイント】

60歳未満の回答者の結婚観については、全年代を通して「自分が成長できる」とプラスに考えている一方、特に若い世代が結婚にマイナスイメージを持っていることが確認できた。

また、「経済的なゆとり」について、肯定的な回答が他の項目より低く、結婚に「経済的なゆとり」を期待していないことが男性の全世代、女性の若い世代に見て取れる。

- 様々な経験が増え、自分が成長できる
- 協力・分担しあうことで、日常生活が楽になる
- 経済的にゆとりのある生活を送ることができる
- 結婚により社会的評価が安定する
- 家庭を持つことによりやすらぎや精神的充足が得られる
- 結婚すると自由がなくなる
- 他人と暮らす面倒さがある

プラスのイメージ

マイナスのイメージ

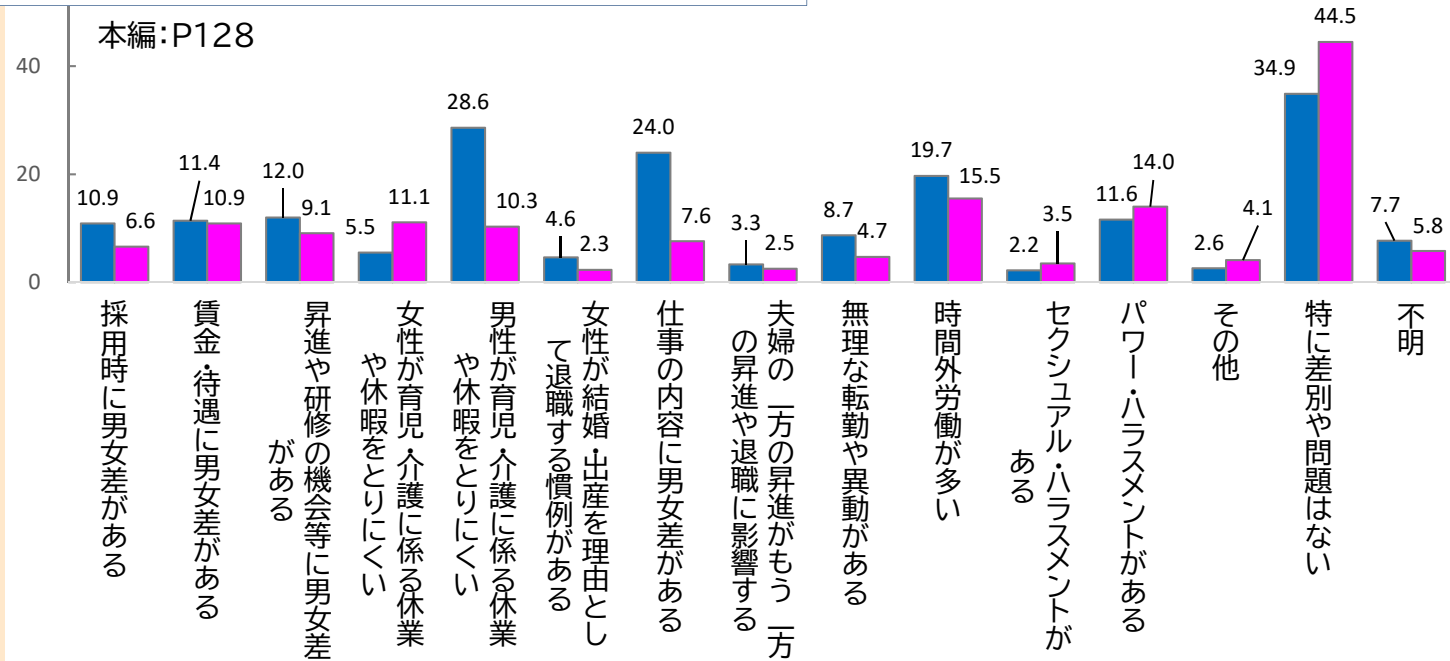
(3) 仕事と生活の両立について

着目点 ・ 経済活動と家庭生活のバランス

【ポイント】

「特に差別や問題はない」と考えている人が多い一方、男性が「男性は育児・介護の休暇が取りにくい」「仕事の内容に男女差がある」と考える割合が高い。

職場の状況(働いていると回答した方)【男女別】



	性別	H23		H27		R2
男性が育児・介護に係る休業や休暇をとりにくい	男性	19.4%	⇒	34.0%	⇒	28.6%
	女性	12.5%	⇒	12.3%	⇒	10.3%

※H23年度は「男性」に特化せず、全体としての取りにくさを聞いている。

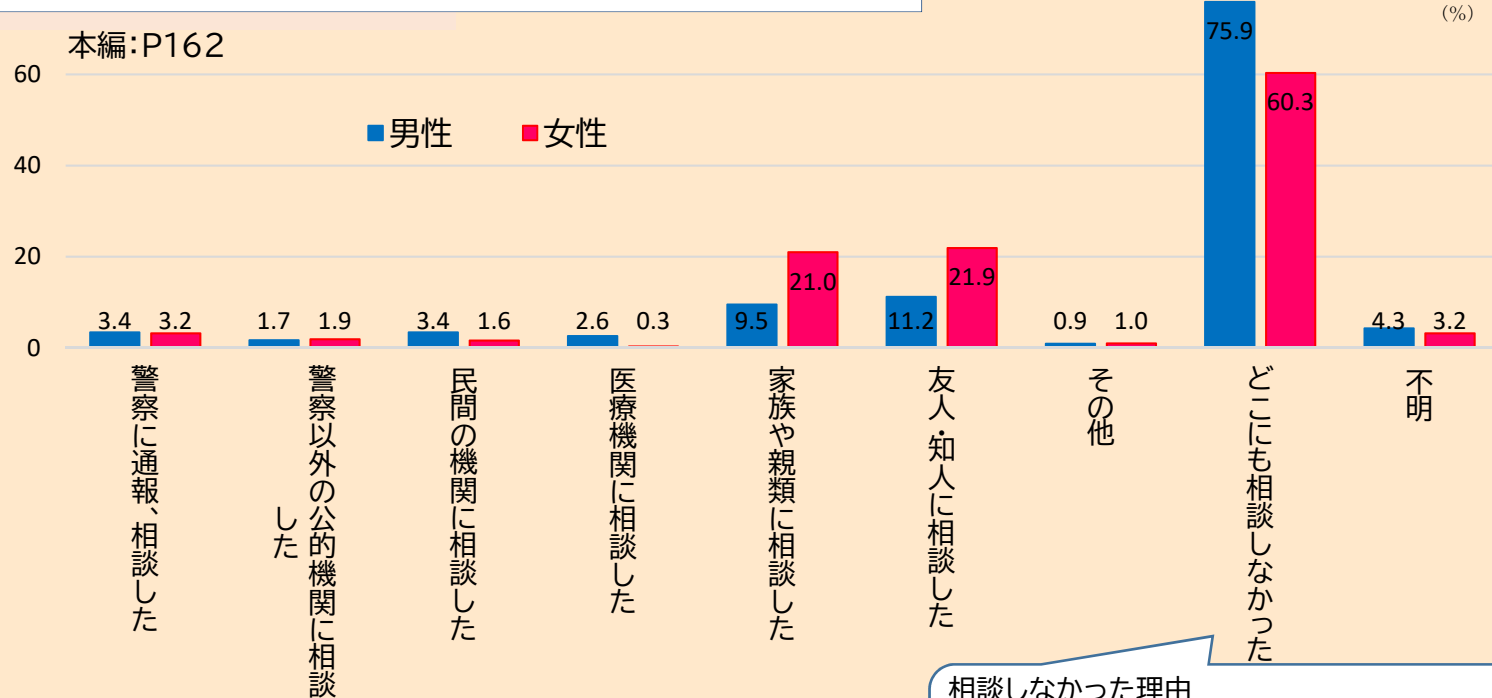
(4) 配偶者、恋人からの暴力について

着目点 ・ 暴力の実態と各対処方法へのアクセス

【ポイント】

「どこにも相談しなかった」人の割合が高く、改善が見られない。
理由として、下記青わくの理由が回答されているが、「どこに相談していいかわからなかった」と回答する人も8.4%いた。

どこかに相談したか(DVを受けた経験のある方)【男女別】



相談しなかった理由

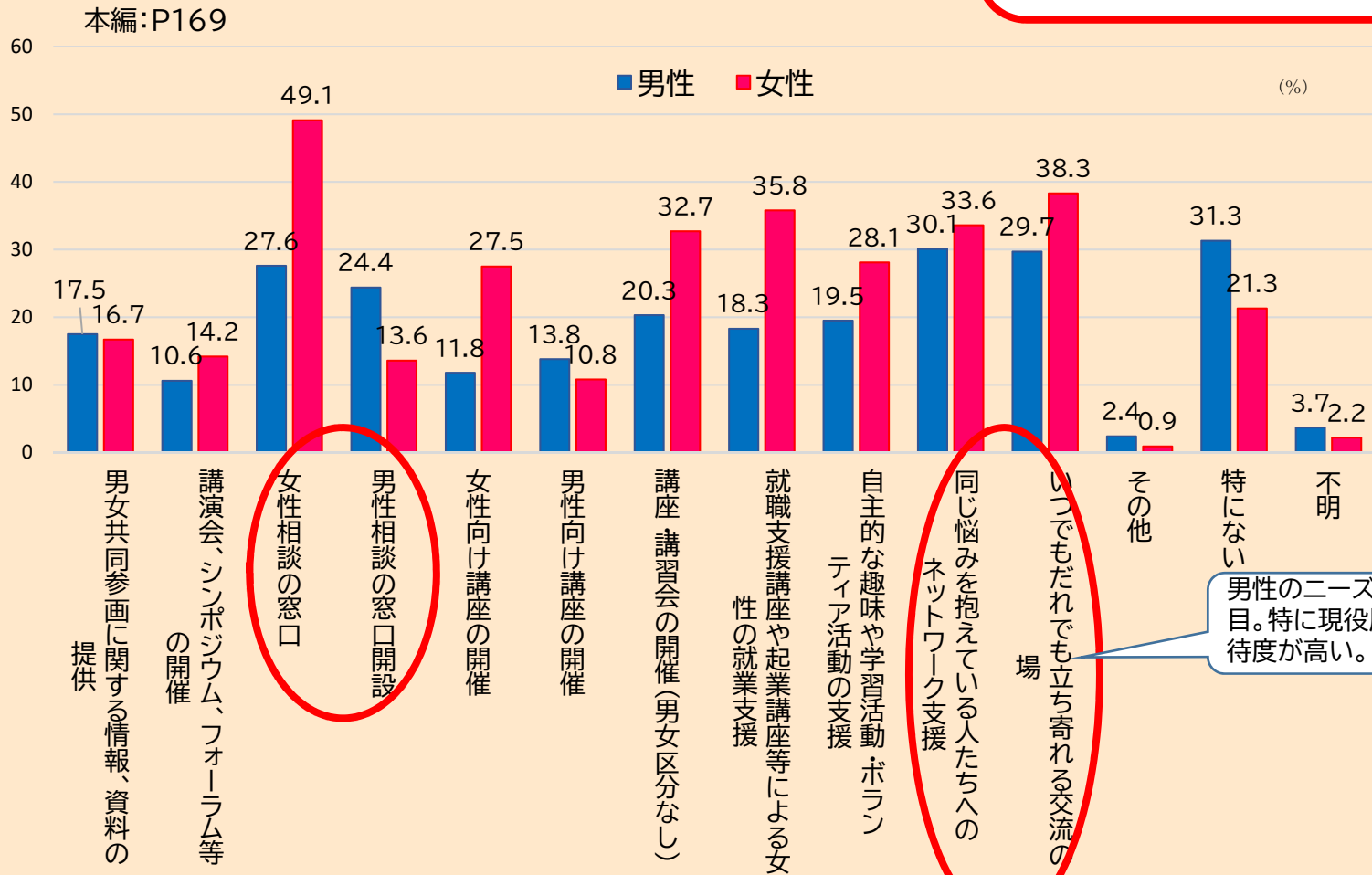
- ・相談するほどのことでもないと思った 60.4%
- ・自分さえ我慢すればいいと思ったから 26.7%
- ・自分にも悪いところがあると思ったから 26.7%

	性別	H23		H27		R2
どこにも相談しなかった	男性	73.7%	⇒	78.8%	⇒	75.9%
	女性	42.7%	⇒	53.0%	⇒	60.3%

(5) 日立市について(市の役割)

着目点 ・ 市民ニーズと施策のマッチング

らぽーるひたち(女性センター)に期待する役割【男女別・50歳未満】



【ポイント】

らぽーるひたちに期待する役割として、女性は「相談窓口」や「交流の場」としての役割に加え、就業支援講座等の学びの場としての役割を期待している。一方男性は、「交流の場」や「同じ悩みを抱えている人たちへのネットワーク支援」としてのニーズも高い。

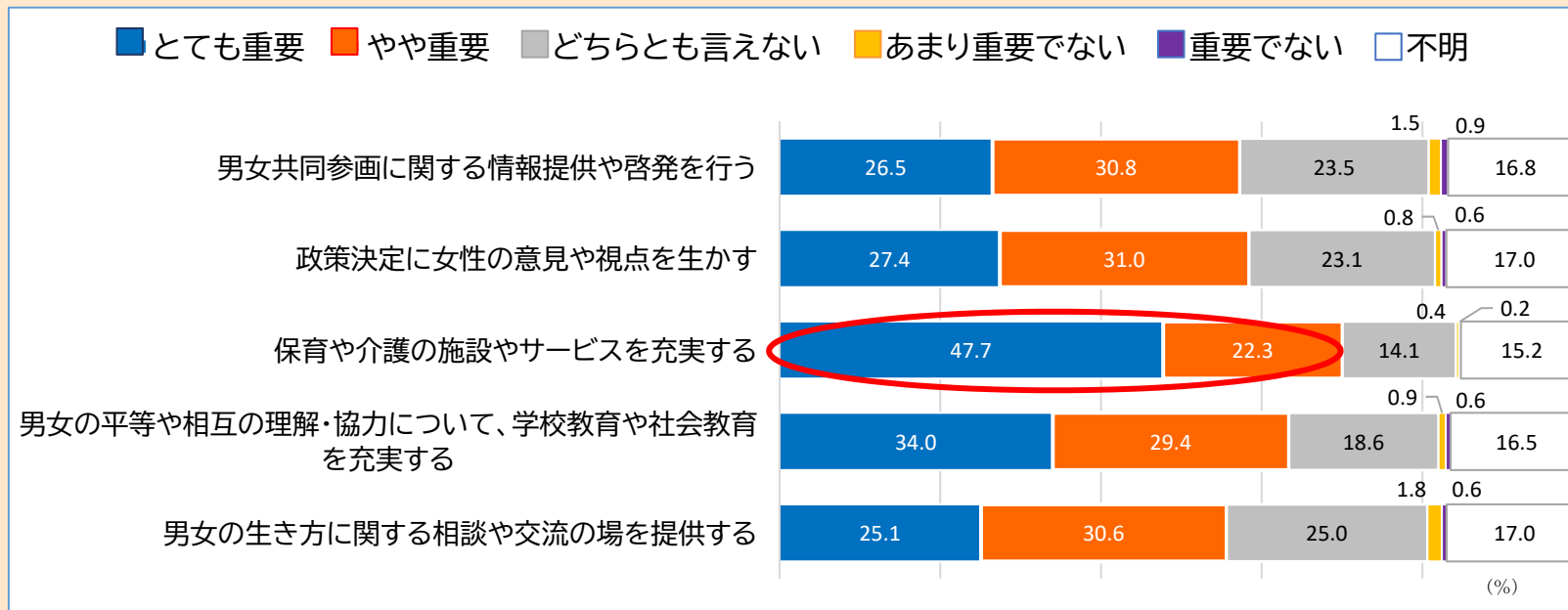
男性のニーズが高い項目。特に現役層にも期待度が高い。

(5) 日立市について(市の役割)

着目点 ・ 市民ニーズと施策のマッチング

男女共同参画を実現するための、今後の各施策の重要度

本編:P186



【ポイント】

男女共同参画を実現するための市の施策として、「保育や介護の施設やサービスの充実」を重要視する意見が多い。また、「学校教育や社会教育の充実」を望む意見も多数見られる。意識調査内の自由意見としても「女性だけを介護・育児・家事に縛り付けないような社会の仕組みづくり」や「義務教育中に男女共同参画に関する理解を深める教育をすること」「生き方や仕事の選択に関して、男女の特徴・個性を活かして協力し理解し合うことを幼少期から実践として学ぶこと」等多くの意見が寄せられている。

なお、日立市の政策決定をする場にどのくらい女性の意見が取り入れられているのかを疑問視する意見もあり、今後の課題となっている。

(その他) 自由意見について (抜粋)

自由回答は320件であった。主な内容は以下のとおり。

男女の地位や役割について

- 1 例えば、議会を男女半々にするなど、具体的に法やしくみで変えていく時代だと思う。(60～64歳 男性)
- 2 最終的には男性だから女性だからという意識を持たずに様々な活動が出来るようになることが最善と思います。(50～54歳 男性)
- 3 男性と女性の問題だと捉えがちですが、男性と男性、女性と女性の問題でもあると考えています。(25～29歳 女性)

家庭生活について

- 1 やはり家事は女性がやる事が多く、負担は多いです。そのような事を広報等でも特集して載せてもらえたらいいと思います。広報は夫も見er機会があるので、そのような記事を見たら関心が高まるかもしれません。(45～49歳 女性)
- 2 まだまだ男女の差を感じる事が多い。特に年配の方の考えは、昔から全く変化がない。女がやって当然というようなことを平気で言うてくるし、やり過ぎると女のくせにと言う人もいる。女性には身体的な負担(出産等)があるので、子育てから介護まで何でも任せきりでは大変だと感じる。特に介護は、もっと周りの協力が必要だと思う。(45～49歳 女性)

仕事と生活について

- 1 男性も女性も自分のライフステージに合わせて働ける・復職できることが大切だと思います。お互いの大変なところを理解し、支え合っていける社会をつくっていきたいです。(25～29歳 女性)
- 2 子供を安心して預ける事ができる施設が充実しないと、女性の社会進出は難しいと考えています。(30～34歳 男性)
- 3 男性、女性とか関係なく優秀な人材は認められて、責任ある立場に登用して、活躍できる環境づくりに期待しています。同様に働きたい方が平等に仕事ができる雰囲気や意識づくりを、引き続き取り組みいただきたいと思っています。(35～39歳 男性)

(その他) 自由意見について (抜粋)

自由意見は320件であった。主な内容は以下のとおり。

地域活動について

- | | |
|---|--|
| 1 | 女性のみが大変なことをする必要があると感じる。他の地域よりも男尊女卑の古い考えが根強く残っている。学校のPTA活動も女の人ばかり。全く理解できません。特に学校活動関係は女の人負担を多くしている代表的なものです。変えていただくことを強く要望します。(50～54歳 女性) |
| 2 | 市内交流センター(コミ推リーダー)を女性にする努力！60才以下の女性の就労(ボランティアと言われる職種にも)には給与を払うことを提案したい。(70歳以上 男性) |

日立市について

- | | |
|---|---|
| 1 | 男性も女性もあらゆる分野で活躍のできる社会づくりが日立市でも行われることを、これからも望んでいます。(20～24歳 女性) |
| 2 | 男女共同参画については、市町村レベルでの施策では限界があると感じる。国・県・社会全体で取り組む必要がある。(55～59歳 男性) |
| 3 | 日立市の人口減少が進む中で、男女共同参画は、とても重要な施策と考えます。小・中学校年代から(学校教育から)男女平等や相互理解等、大切と考えます。男女共同参画に関する情報発信が不十分と感じます。市報等で、特設ページ(号)を増やす、女性の意見・視点コーナーの設置など、目に触れる様に頑張ってください。期待しています。(40～44歳 男性) |

教育について

- | | |
|---|---|
| 1 | 男女平等を意識しすぎて逆に男性が卑下されるところも見受けられますので、正しい意識の持ち方を伝えていって欲しいと思います。(20～24歳 男性) |
| 2 | 自らの世代では、男女共同参画への意識が低く、その取組みを意識していない方が多いと感じます。そのため、若い方達に対しては取組みや現状を知る機会を設けることが良い効果を得られると思います。(20～24歳 男性) |